第213号様式（表）（用紙　日本産業規格Ａ４縦長型）

自動車税の課税免除対象バスの認定申請書

年　　月　　日

沖縄県知事　殿

申　請　者
住　　所
氏名又は名称
代表者氏名

みだしのことについて、　　年度分の自動車税を課税免除されたく下記のとおり申請致します。

記

１　課税免除対象バスの総数　　台

２　課税免除対象バスの指定等

区分	登録番号	乗車定員	４月１日から４月７日までにおける		生活路線走行率 ②/①	当該バスの主たる定置場
			当該バスの全走行キロ数　①	①のうち生活路線走行キロ数　②		
1		人	km	km	%	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
……						

（裏）（記載要領）

１　「課税免除対象バスの総数」は、次の算式によつて得た数とする。

$$\text{課税免除対象バス総数}=\text{当該バス事業者の所有する一般乗合用バスの総数}\times\frac{\text{当該地方バス事業者の生活路線に係る年間走行キロ数}}{\text{当該地方バス事業者の全路線の年間走行キロ数}}$$

（注）⑴　「当該地方バス事業者の生活路線に係る年間走行キロ数」とは、当該地方バス事業者のバス路線のうち、課税免除を受けようとする年度の前年度において、地方バス路線維持費補助金の対象となつた期間における県内の生活路線の年間走行キロ数をいうものであること。

⑵　「当該地方バス事業者の年間走行キロ数」とは、課税免除を受けようとする年度の前年度において地方バス路線維持費補助金の対象となつた期間における全路線の走行キロ数をいうものであること。

⑶　「年間走行キロ数」とは、次の算式により算定したものであること。

年間走行キロ数＝系統別免許キロ数×当該系統の１日当たり運行日数×年間運行日数×２

⑷　「課税免除対象バス総数」に１未満の端数があるときは、これを四捨五入するものとすること。

⑸　「当該地方バス事業者の所有する一般乗合用バスの総数」とは、課税免除を受けようとする年度の４月１日現在において、地方バス事業者が所有する一般乗合用バスの総数をいうものであること。

２　課税免除対象バスの指定等の表には、各バスごとに、自動車税の課税免除を受けようとする年度の４月１日から４月７日までの期間に係る旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第25条の乗務記録によつて生活路線走行キロ数及び全走行キロ数を算定し、次の算式により計算した生活路線走行率の高いものから順次１の課税免除対象バス総数までのバスについて記載するものとする。

$$\text{生活路線走行率}=\frac{\text{４月１日から４月７日までの生活路線走行キロ数}}{\text{４月１日から４月７日までの全走行キロ数}}$$

この場合において、「走行キロ数」に１未満の端数があるときは、これを四捨五入するものとし、「生活路線走行率」は、パーセント以下第２位まで算定し記載すること。

３　この申請書を提出する際には、課税免除対象バスの主たる定置場を管轄する陸運行政機関が発行する当該バスが主として生活路線において運行されていることを証する書類その他参考となる資料を添付すること。